

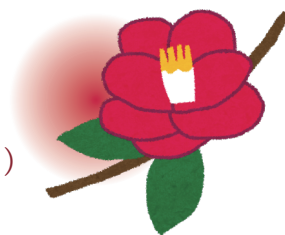
ホッとと通信

知ってうれしい豆知識

2018年 1月号 vol.17

今月の色

想紅
(おもいくれない)
【椿】の深い紅



着物のお手入れについて

今回は大切なお着物を長く、きれいに着ていただくための「着物のお手入れ」をご紹介します。

きものは着用後に簡単なお手入れを施し、正しくしまうことで美しさを長く保つことができます。

保管のコツを身につけて、すてきなきもの美人を目指しましょう。

すぐにたたまず、日陰干し

風通しの良い場所で一晩ハンガーに掛けて、シワや湿気を取り除きましょう。
汗を多く含んでしまった場所があれば、水を含ませたタオルで軽く叩いておきましょう。
その他、シミや汚れが目立つ場合は早めにクリーニング店か購入した店舗へご相談ください。

正しくたたみましょう

折り目、縫い目に沿って正しくたたみましょう
この場合、湿気やカビの防止、シワの予防のために、たとう紙に包み保管をしてください。
変色や箔落ちを防ぐため、刺繍や箔のあるものは布や和紙をあてておきましょう。

箆笥へのしまい方

箆笥へしまう場合は、防湿剤（シリカゲル）を敷き収納をします。
たとう紙は半年に一度交換し、防虫剤も1種類だけ、同じものを使いましょう。
たとう紙の上に着物の写真などを貼っておくと、どの着物かわかりやすく便利です。

保管の前にほこりを落とし、汗や湿気を取ることで大きなシミや汚れを防ぐことができます。
汚れやシミが有る場合には早めにクリーニングを。
早いほど簡単に落とせます。